

第23回

西成区社会福祉大会

～みんなでささえあうつながりのまち西成区～



日程

平成28年7月27日(水)
午後1時30分～午後4時(午後1時から受付)

会場

西成区民
センター

第1部

感謝状贈呈

入場無料

第2部

トーク&ゴスペルコンサート

要約筆記・通訳手話
一時保育有り

「誰かがあなたを必要としている～すべての人生には目的がある～」

出演 / 市岡 裕子(ピアノ伴奏:大久保 和慧)

市岡 裕子さん プロフィール

吉本新喜劇座長として一世を風靡した故・岡八朗の長女。母の自殺、弟の死、父のアルコール依存症などの苦難を負うなか、音楽に慰られゴスペルシンガーの道に進む。壮絶な葛藤の末に手にした父娘の絆。

1964年兵庫県西宮市生まれ。吉本新喜劇座長として人気を博した故・岡八朗の長女。4歳からピアノと歌を始め、高校時代にジャズ、黒人音楽に触れる。16歳の時うつ病により母親が自殺、父のアルコール依存症による新喜劇リストラ退団。さらに胃ガンと脳挫傷、弟の死と続く。家族の世話に追われる中でアメリカ留学を果たす。一時帰国後、1996年再渡米。ハーレム黒人教会で本場のゴスペルに出会い、1999年ブルックリン・クイーンズ音楽院にてブラックミュージックを本格的に学びゴスペルシンガーの道を歩む。2002年父・岡八朗の芸能生活45周年記念リサイタルで父娘共演。翌年の2003年、NHK“にんげんドキュメント”でリサイタルに至るまでの親娘の絆が紹介される。同年、父娘共著の足跡を記した自叙伝『泣いた分だけ笑わしたる!!』(マガジンハウス)を発売。2008年からは、タイでエイズウイルスに感染した孤児を支援する慈善コンサートも始め、地球規模で愛を注いでいる。2012年6月にはチェンマイのHIV孤児達の支援のため、CD“Amazing Grace”を発売。2013年2月、父である喜劇役者の故・岡八朗さんが「第16回上方演芸の殿堂入り」に選ばれ表彰される。



市岡裕子さん



大久保和慧さん



問い合わせ

大阪市西成区社会福祉協議会 西成区岸里1-5-20 西成区合同庁舎8階
TEL/06-6656-0080 FAX/06-6656-0083

本事業の一部は、共同募金の配分金により実施します。

